

## 平成 19 年度第 7 回理事会抄録

日時：平成 20 年 2 月 16 日（土） 14：30～18：20

場所：（社）日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：杉原（会長）、中村、山根（副会長）、荻原（事務局長）、富岡、古川、長尾（監事）、岩瀬、香山、糊澤、小林（正）、鶴見、早川（常務理事）、大熊、大丸、小林（毅）、坂井、澤田、日垣、三澤、山本（理事）、石塚（部長）、土井、西野、近藤、佐竹（委員長）、大瀧（士会連絡協議会長）

### I. 審議事項

**1.平成 20 年度予算案について**（石塚財務部長）正会員収入は 3 万 8700 人を見込み、4 億 6440 万円。収入合計 5 億 4446 万円。支出について法人運営費は事務員 1 名増員などにより 1175 万円増額。学術部は学会時の部活動についての旅費は支払わない原則で旅費交通費 126 万円減。養成教育部は教員研修会の予算を要求より少なくし、1095 万 6000 円とした。生涯教育部は活動内容が見直され、当初より低く押さえられた。USB メモリは個人情報管理強化のため、法人運営費で一括購入としたい。福利部は待遇調査を「白書」作成時に行うことにしたため大幅減額。事業部は研修会が多いが、そのまま計上。その他、予算案のとおり。事業部の研修企画について、会員向けの研修が増殖している現状をどうすべきかについて①研修の評価の仕方を簡便にし、評価の結果を部に戻し、事業部が意見を言っていく②残してほしい研修会は担当理事が事業部に伝える③担当理事が事前に精査し、理事会に上げる等の意見が出される。特設の福祉用具委員会の予算についての意見等、他にも多く意見が出された結果、この予算案を各担当理事が持ち帰り、調整するというところで継続審議となる。→継続審議

**2.第 43 回日本作業療法学会（福島）の予算案について**（石塚財務部長）会費収入 3500 人の正会員を見込み、協会補助を含め 6067 万 5000 円の予算。委託費等、今後補正を組むことになるが、総額をこの枠内で抑えることで承認される。→承認

**3.規約の整備について**（西野規約委員長）**1) 新設された部・委員会の分掌事項（定款施行規則第 4 章）** 生涯教育部については研修会種別の名称を現行のものに修正すること、保健福祉部については「福祉用具適正利用」を今年度のみ残すことで承認。**2) 総会委任状の様式** 自宅住所でも可とする旨の文言を付加することで承認。**3) 謝金規程（改定案）** 実情を勘案する旨の例外規定を設け、「助教授」を「准教授」に修正することで承認。**4) 事例報告登録、同意書及び取扱に関する規程（案）** 近々の再改定を含み、承認。

**4.第 44 回日本作業療法学会会長及び開催士会候補の推薦について**（近藤学会評議委員長）第 44 回学会会長に佐藤善久氏、開催士会に宮城

県士会を推薦する。→承認

**5.国家試験問題の正答案作成について**（荻原事務局長）養成施設に国家試験問題全問に対する回答案を依頼する提案に対し、今回は採点を除外すべきと思われる問題の提出にとどめ、今後の対応については改めて検討する。→承認

**6.平成 20 年度 渉外活動計画について**（中村渉外部長）協会全体の渉外活動を把握するための表を作成。各理事に不足分の補完をお願いする。→承認

**7.平成 19 年度 第 2 回 認定作業療法士審査結果について**（荻原事務局長）更新申請 5 名、新規 3 名について審査し認定した。→承認

**8.平成 19 年度 WFOT 認定審査結果について**（佐竹 WFOT 認定等教育水準審査委員長）審査対象校 59 のうち、申請された 30 校を審査し、28 校が合格（継続 14 校、新設校 5 校、未認定 9 校）。→承認

## 9.その他

（荻原事務局長）3 名の死亡退会が報告された。→承認

## II 報告事項

**1) 平成 19 年度 仮決算について**（石塚財務部長）1 月 30 日での仮決算の結果、入会金 84.9%、正会員会費 79.9%と低目である。各部・委員会は執行率を考慮されたい。

**2) 新作業療法 5 ヶ年戦略（案）検討の手順について**（土井企画調整委員長）理事に要旨をメール配信し、意見をいただいているが、なお項目立ての是非、中身の精査等が必要と思われるので、各理事にヒヤリングをお願いする。

**3) WFOT 世界会議誘致について**（荻原事務局長）開催地候補の具体的な検討を始めた。

**4) 平成 20 年度の会議日程について**（荻原事務局長）三役会、理事会、運営会議の日程案。

**5) 日韓作業療法士交流セミナーについて**（杉原会長）2 月 17 日協会事務所にて交流セミナーを開催する。

**6) 精從懇の事務局引き受けについて**（香山精神障害問題担当理事）精從懇の事務局を 3 年間引き受けることとなる。

## 7) 渉外活動報告

1) 榎澤精神障害問題担当理事：2 月 5 日厚労省の対策官との交渉の席での「作業療法の開催場所の指導が統一されていない」旨の質問について、電話回答がされる。

## 8) その他

**① 障害者ケアマネジメント研修会視察報告**（大丸保健福祉部担当理事）参加者は少ないが、OT が障害者ケアマネジメントに関与していくことは重要な課題であり、アンケートの結果でも必要な項目をつかんでいるので、回数を 1 回に絞り継続。

②「作業療法と障害者マネジメント」（機関誌掲載原稿案）（大丸保健福祉部担当理事）障害者マネジメント研修会の要約を、会員に役立つ資料として機関誌に載せる方向で学術部と調整。

以上